

PROLOGIS

Magazine

Vol.3

2018



Ahead of
what's next

未来、その先へ

① i-construction Komatsu



物流施設開発の建築現場にICTを活用。ドローンによる三次元の土地調査システムの導入や、ICTによる重機の自動管理、全球測位衛星システム(GNSS)を活用した締め管理など、安全で効率的な施工を実現します。

② ドローンによる 施設点検



屋根や壁面の点検を作業員が実施する場合、長時間を要し危険も伴います。ドローンならより広範囲で詳細に点検でき、安全で効率的な作業を可能にします。さらにカメラで撮影した映像を保守判定に活用することで、短時間で正確なデータを取得し、蓄積することができます。

③ ロボットによる 施設管理



ロボット芝刈り機の導入など、施設管理業務をロボット化することにより、時間や天候に左右されることなく敷地内のメンテナンスが可能になります。美観を保ちながら省人化と管理コストの低減を実現します。

Ahead of what's next

未来、その先へ



② ドローンによる 施設点検

① i-construction



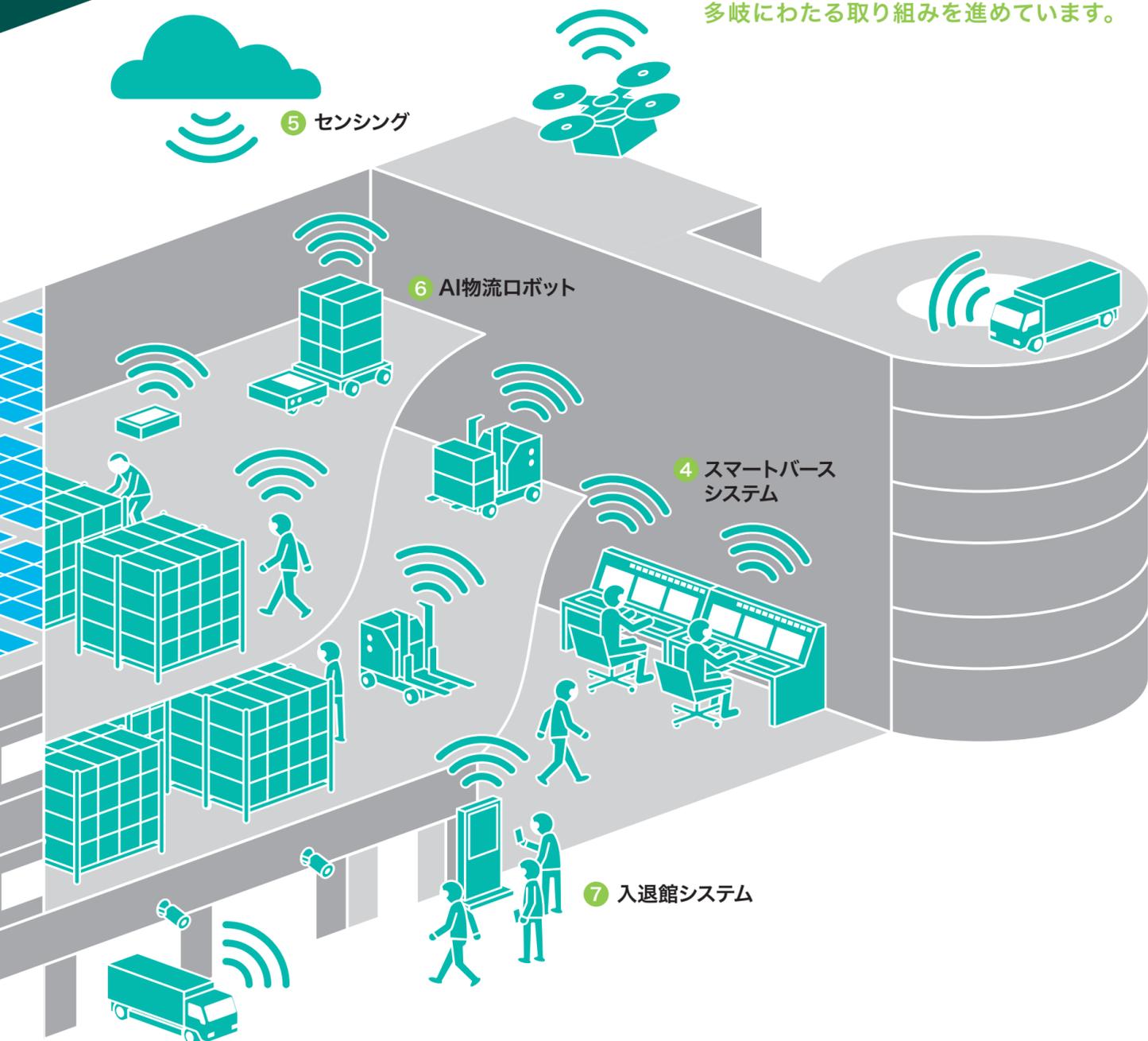
③ ロボットによる 施設管理



プロロジスの「いま」と「未来」

プロロジスは今年4月に新たなタグラインを決定しました。その言葉どおり、物流施設の開発や運営において、常に先進性を持って取り組むとともに、将来を見据えた新たなサービスや価値をお客様の皆さまに提供し続けることをめざしています。プロロジスの「いま」と「未来」にぜひご注目ください。

プロロジスは、
 さまざまな企業とのコラボレーションによる
 デジタル化の推進や次世代技術、データの活用、
 またエリアとの連携による新しい物流プラットフォームづくりなど、
 多岐にわたる取り組みを進めています。



4 スマートバースシステム



カメラとセンサーを活用した、トラックバースの状況をタイムリーに把握できるクラウドベースのシステムです。入出庫管理、車両識別、設備破損の監視にも活用できます。将来的にはIoT、AIを活用し、物流の更なる最適化を実現します。

5 センシング



倉庫内にセンサーを配置し、LPS (Local Positioning System / 位置情報システム) によって、施設内の作業員や物の移動経路や滞留時間をデータとして取得、蓄積します。データを分析・管理することで、作業効率と精度を向上します。

6 AI物流ロボット



商品のピッキングや商品棚の移動を最適な動きで実現し、作業効率を向上。最新型では周囲の状況に応じて最適なルートを走行する「SLAM方式」を採用し、床面の工事をすることなく、パレット、台車、ラックなどを最大1,000kgまで搬送できるタイプが登場しました。

7 入退館システム



施設への入退館管理に光ID技術を活用するシステム。予め来訪者の情報を登録しておくことで、来訪者は専用のアプリをダウンロードしたスマホをセンサーにかざすだけで入館手続きが完了します。入退館手続きの煩雑さを解消するとともに、セキュリティの向上にも寄与します。

BIM



ビルディング・インフォメーション・モデリング (BIM) の導入により、設計効率が向上するだけでなく、施設デザインやマテハンレイアウトのチェック、将来的な施設改修にも役立ち、顧客の要望にスムーズに対応できるようになります。プロロジスは2017年から設計施工を担当する企業にもBIM採用を義務付けています。

これらの取り組みは一例にすぎません。プロロジスはAIやロボット、デジタル技術などを積極的に活用し、物流運営の大幅な効率の向上と省力化を実現するためにも、最先端技術を活用したイノベーション戦略を本格化させています。最先端技術を持つ企業との戦略的パートナーシップや、プロロジスベンチャーを通じたベンチャー企業への投資、新しいビジネスモデルの起業支援を循環させることで、イノベーションを推進していきます。プロロジスはカスタマーと協業し、パートナー企業にさまざまな課題解決の機会を提供することで、グローバル・サプライチェーンの変革に寄与して参ります。

挑戦を続けるプロロジスに、どうぞご期待ください

プロロジスベンチャーのパートナー&投資先

プロロジスの本社ではプロロジスベンチャーを通じて、技術を有するパートナー企業にさまざまな機会を提供。グローバル・サプライチェーンの変革に寄与することをめざして活動しています。



PROLOGIS INFO

1999年の日本進出以来、累計93棟の大型物流施設を開発した実績を持つプロロジス。
現在、開発中の施設を含めて54棟、総延床面積約410万㎡の物流施設を所有・運営・開発しています。



新規物件



プロロジスパーク草加

マルチテナント型施設
所在地: 埼玉県草加市(草加柿木フーズサイト)
敷地面積: 約69,000㎡(約20,870坪)
延床面積: 約151,180㎡(約45,730坪)
階数: 地上4階建
※施設規模は計画中のもので、変更の可能性があります

【特長】

- 東京駅から約20kmにあり、国道4号バイパス(東埼玉道路)に隣接
- 国道298号(東京外環道)に近接、外環道「草加IC」より約4.2km、「外環三郷西IC」より約4.5kmと、高い交通利便性
- JR武蔵野線「越谷レイクタウン駅」より徒歩約10分
- 工業用水を利用可能
- 広域配送、都心・地域配送のいずれにも利用可能な物流適地



プロロジスパーク小郡

ビルド・トゥー・スーツ(BTS)型施設
所在地: 福岡県小郡市
敷地面積: 約31,854㎡(約9,636坪)
延床面積: 約29,950㎡(約9,060坪) ※計画中
階数: 地上2階建 ※計画中

【特長】

- 大分自動車道「筑後小郡IC」から至近
- 物流の要所である「鳥栖JCT」まで5分。九州全域への在庫拠点として最適
- 県道53号線経由で「筑紫野IC」へ約20分。国道3号線で福岡市内へもアクセス可能
- 約10,000坪の整形地にて自由な建物プランを実現

募集中物件



プロロジスパーク千葉1

マルチテナント型施設
所在地: 千葉県千葉市
敷地面積: 約66,163㎡(約20,014坪)
計画延床面積: 約146,805㎡(約44,408坪)
階数: 地上5階建
着工: 2018年5月
竣工: 2019年9月竣工予定



プロロジスパーク千葉2

マルチテナント型施設
所在地: 千葉県千葉市
敷地面積: 約30,134㎡(約9,115坪)
計画延床面積: 約69,900㎡(約21,000坪)
階数: 地上5階建
着工: 2019年春
竣工: 2020年夏



MFLPプロロジスパーク川越

マルチテナント型施設
所在地: 埼玉県川越市
敷地面積: 約58,750㎡(約17,770坪)
延床面積: 約130,800㎡(約39,720坪)
階数: 地上4階建
着工: 2017年8月
竣工: 2018年10月竣工予定



プロロジスパーク東松山

マルチテナント型施設
所在地: 埼玉県東松山市
敷地面積: 約31,170㎡(約9,429坪)
延床面積: 約71,184㎡(約21,533坪)
階数: 地上4階建
着工: 2016年10月
竣工: 2018年3月竣工



プロロジスパーク京田辺

マルチテナント型施設
所在地: 京都府京田辺市
敷地面積: 約69,701㎡(約21,084坪)
延床面積: 約61,356㎡(約18,810坪)
階数: 地上6階建
着工: 2017年6月
竣工: 2018年10月末 竣工予定



プロロジスパーク神戸3

ビルド・トゥー・スーツ(BTS)型施設
所在地: 兵庫県神戸市
敷地面積: 約19,225㎡(5,816坪)
延床面積: 約38,759㎡(11,725坪) ※計画中
階数: 地上4階建 ※計画中



プロロジスパーク神戸5

マルチテナント型施設
所在地: 兵庫県神戸市西区見津が丘
敷地面積: 約19,941㎡(約6,032坪)
延床面積: 約36,023㎡(約10,897坪) ※計画中
階数: 地上4階建 ※計画中



プロロジス猪名川プロジェクト

所在地: 兵庫県川辺郡猪名川町
事業区域面積: 約452,000㎡
施設用地面積: 約144,800㎡
計画建物: マルチテナント型1棟、BTS型4棟 計5棟
延床面積: 約258,000㎡
開発予定期間: 2019年～2025年
(第1棟の着工は2020年初頭、竣工は2021年春を予定)



(仮称)古河プロジェクト

所在地: 茨城県古河市
敷地面積: 計画中
延床面積: 計画中
階数: 計画中

お問い合わせ先: プロロジス 開発部 TEL: 03-6860-9090 Email: pldnews@prologis.co.jp

